

一般質問

徳田
議員

○道路の整備について

質 市道尊光寺線について測量設計ができたとのこと。予算の見通しは。

建設課長 平成31年度の工事着手に向け、関係予算を計上しています。

質 9月議会で市道平野半島線の通行止めについて質問しておりましたが、その後どうになりましたか。

建設課長 現在は、入札を終え、工事着手の準備をしています。9箇月程度を要すると考えますが、一日も早い復旧完了に向け努力していきます。

質 市道此の浦線の災害復旧予定はどのようになっておりますか。

建設課長 原因は地滑りであるとの見解が示されたが、短時間のデータだけでは範囲や規模などを特定できなかったため、災害査定を行わず、継続調査を行うこととなっています。

質 市道土谷鯛の鼻線改良事業の全体計画はできていますか。

建設課長 全体計画延長は、1440m、幅員は7mで、平成40年度までの事業計画予定となっています。

質 市道祝崎新田線改良工事費はあまりかからない。重要な路線で効果を早急に上げるべきではありませんか。

建設課長 まず市道土谷鯛の鼻線を完成させてから次の路線に入っていきます。

くという方針でいきたいと思っています。

質 市道福島中央線は、建緑園から大山展望台入口までは路面の傷みがひどくガードレールも傾いている。整備ができませんか。

建設課長 路面は、緊急性の高い部分について予算の範囲内で補修します。ガードレールは、関係課と協議を行い、改善方針を検討します。

質 県道喜内瀬鍋串辻線の里工区は現在どのような状況で市としての対応はどうされておりますか。

建設課長 これまで740mが完成し、現在も工事は進んでいます。多くの問題があり、解決に至っていない状況です。市としては、地域皆様と協議しながら解決の糸口を検討していきたいと考えています。

○福島小中学校の改築事業について

質 新築の壁面に亀裂を発見し、その後も新たな亀裂が発生した。現状と対応はどうされますか。

都市計画課長 共有棟と小学校棟の外壁クラックの合計は140箇所です。クラックを補修し、構造的に問題がなければ、新たに塗装する必要はないと考えます。

質 長崎県のように再評価できないか。

都市計画課長 現在、考えていません。

質 市外の下請業者が多いが市内業者育成に繋がっているのか。

副市長 どういった下請を使うかは元請の事業者が考えるべきであり、市が口を挟むのは難しいと思います。

一般質問

山崎
議員

○子どもの見守りについて

近年、テレビや新聞で子どもが関わる事件・事故をよく目にする。現在、市内小中学校や地域での子どもを見守る取り組みを伺った上で、次の質問をしました。

質 携帯電話の所持率は。

学校教育課長 小学生は1年生16・8%、2年生13・6%、3年生27・8%、4年生35・9%、5年生38・5%、6年生35・2%、中学生は、1年生52・9%、2年生47・7%、3年生59・8%となっています。

質 子ども達の悩みやトラブルの早期発見を重視し、子どもが直接相談できる窓口を作ってみてはどうか。

学校教育課長 現在のところ、市独自の対応はできていません。ただし、定期的に24時間子供SOSダイヤル（親子ホットライン）やメール相談のアドレス等の紹介を行っています。また、年3回、保護者を対象にメール相談窓口で教育相談を実施しています。次年度に向けては、児童生徒を対象にQRコードを活用した悩み相談等の受付などについて検討したいと考えています。

○小学校区単位での町づくりについて

質 「ともだビジョン」の小学校区を対象とした協働まちづくりの推進とはどういうことをされるのか。

政策企画課長 先進地の取り組み事例を参考に、本市での運営組織の立ち上げ等に関する制度設計について検討しています。あわせて、今後は各地域において市民皆様との対話を進め、モデル地区を選定して、まちづくり運営組織の立ち上げも取り組んでいきたいと考えています。

質 近年、御厨、大崎、田代や福島、養源の小学校が統廃合されましたが、廃校活用や地域の主要産業の違いなどを考えると旧小学校区の方がよいのでは。

市長 人口減少の中で行政のスリム化を行い、住民の皆さんと力を合わせてまちづくりをやっていくことが必要だと思います。その中で、できるだけ地域でマンパワーを集めることが必要です。地域全体で地域のことを考えるときには、小学校区単位が最もコミュニティとして昔からつくり上げてきたものですので、市民との協働によるまちづくりという意味では、現在の小学校区において取り組みたいと考えています。

このほかに、「小学校卒業後にサッカーができる環境整備について」と「ため池事業について」質問しました。